

第88期中間期 株主のみなさまへ

平成23年4月1日～平成23年9月30日



「三洋化成の森」(京都府和束町)



守ろう自然
育もう森林
いつまでも



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、格別のご高配をたまり厚くお礼申し上げます。当社第88期中間期(第2四半期累計期間:平成23年4月1日~平成23年9月30日)の連結業績の概要をここに報告申し上げます。

当中間期の連結売上高は、販売数量の増加に加え、原燃料価格上昇に伴う製品価格改定により、710億3千1百万円(前年同期比5.6%増)となりました。

利益面では、原燃料価格が前年同期を上回る水準で推移したことに加え、円高や昨年10月より稼働した衣浦工場の償却費負担もあり、営業利益は33億7千5百万円(前年同期比35.2%減)、経常利益は41億9千1百万円(前年同期比24.6%減)、純利益は24億6千8百万円(前年同期比23.1%減)と、前年同期比ではいずれも減益となりました。

中間配当金につきましては、昨年の中間配当金および、本年5月に実施いたしました期末配当金と同様1株当たり7円50銭とさせていただきます。

さて、当期のわが国経済は、東日本大震災後の経済活動全般の急激な落ち込みからは回復しつつありますが、欧州の信用不安および米国での雇用悪化による景気の低迷に加え、金融引き締めによる中国の景気減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

化学業界におきましても、震災後の需要の落ち込みからは回復しつつある一方、円高の継続や、原燃料価格も前年同期を上回る水準で推移するなど、経営環境は厳しい状況にあります。

このような環境下において当社グループは、「グローバルに、ユニークな優良企業グループ」を目指す第8次

中期経営計画(2011~2014年度)の達成に向け、引き続き企業体質の抜本的な改革と基盤の強化に努めてまいり所存であります。

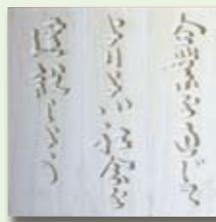
株主各位におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力をたまりますようお願い申し上げます。

平成23年11月



代表取締役社長

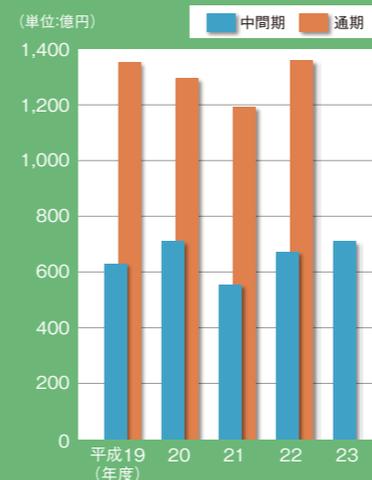
安藤 孝夫



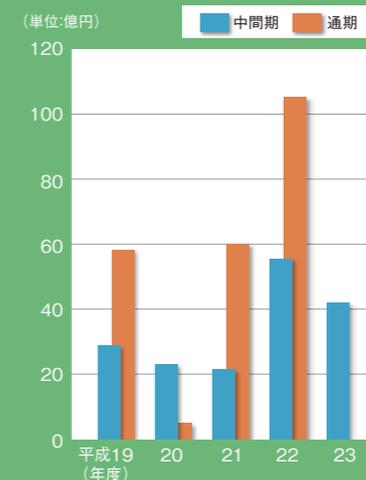
〔社は〕
企業を通じて
よりよい社会を
建設しよう

◎財務ハイライト(連結)

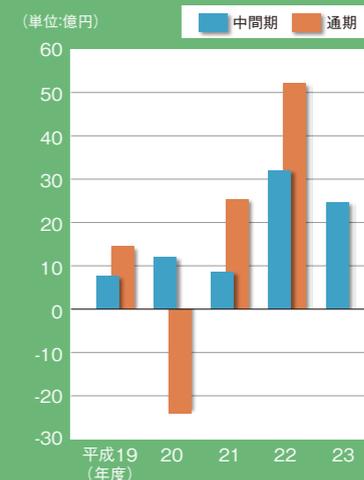
〔売上高の推移〕



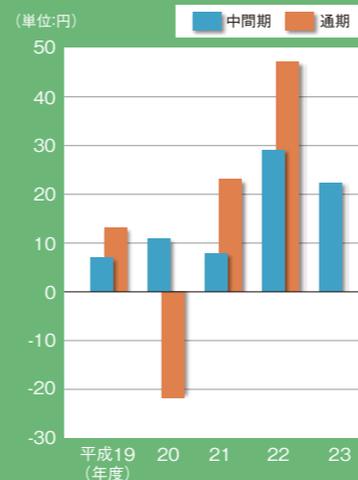
〔経常利益の推移〕



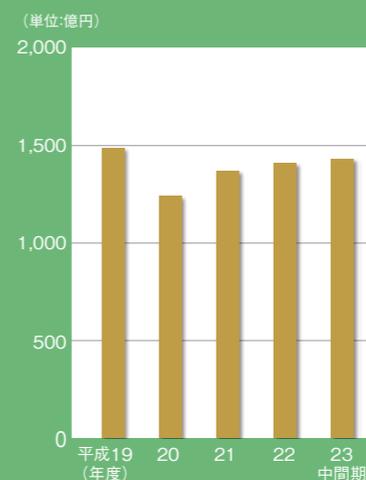
〔当期(中間期)純利益の推移〕



〔1株当たり当期(中間期)純利益の推移〕



〔総資産の推移〕



〔純資産の推移〕



生活・健康産業関連分野

生活産業関連分野は、洗剤用界面活性剤が液体洗剤の本格的な普及に加え、新製品の上市が奏功し、大幅に売り上げを伸ばしました。また、ポリエチレングリコールは、国内外での拡販が順調に進んだことに加え、一部東日本大震災の影響による応援(受託)生産を行ったこともあり、売上高が大幅に増加しました。

健康産業関連分野は、世界的な需要拡大が続いている紙おむつ用の高吸水性樹脂が、フル稼働状態を続けているため販売数量を伸ばすことができず、売り上げの伸びが微増に留まりました。この状況に対応すべく、本年6月、中国で年間生産能力7万トンの高吸水性樹脂生産設備を増設し、稼働を開始しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は256億2千7百万円(前年同期比6.2%増)となりましたが、営業利益は原燃料価格が高水準であったことに加え、円高の影響もあり16億7千7百万円(前年同期比30.4%減)となりました。

主な製品

- 洗剤・洗浄剤用界面活性剤
- ヘアケア製品用界面活性剤
- 高吸水性樹脂
- 人工腎臓用ポッティング材
- 医薬品原料
- 殺菌消毒剤・抗菌剤

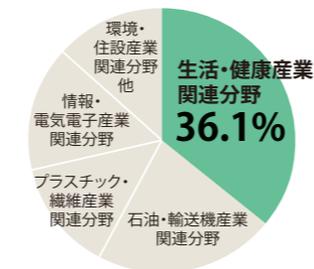


ヘアケア製品に

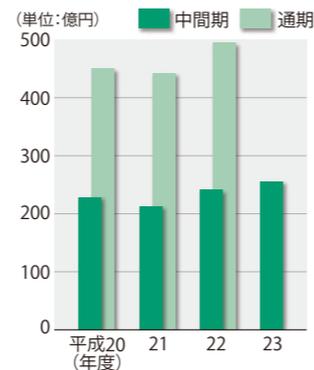


紙おむつに

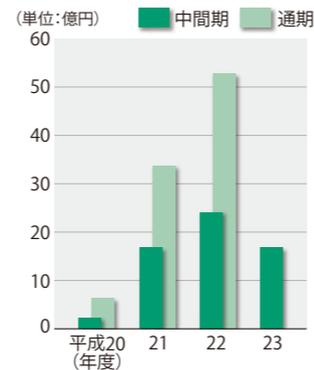
売上高比率



売上高の推移



営業利益の推移



石油・輸送機産業関連分野

石油・輸送機産業関連分野は、潤滑油添加剤が海外向けを中心に省燃費対応エンジンオイル用潤滑油の需要拡大を受け、売り上げを大幅に伸ばしましたが、東日本大震災の影響により国内で自動車生産台数が減少し、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料、自動車内装表皮材用ウレタンビーズや自動車塗料用改質剤の需要が低迷したため、売上高が横ばいとなりました。

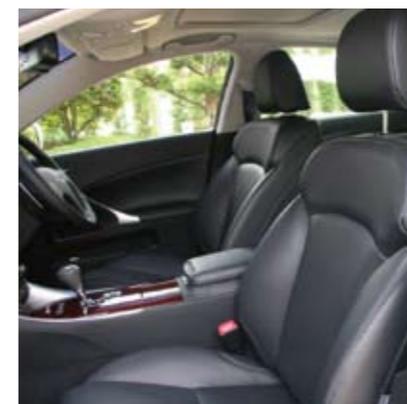
以上の結果、当セグメントの売上高は154億5千7百万円(前年同期比1.4%増)となりましたが、営業利益は円高や衣浦工場の償却費負担もあり4千4百万円(前年同期比91.2%減)となりました。

主な製品

- 自動車内装表皮材用ウレタンビーズ
- 燃料油添加剤
- ポリウレタンフォーム原料
- デザインモデル製作用盛り付け樹脂
- 潤滑油添加剤

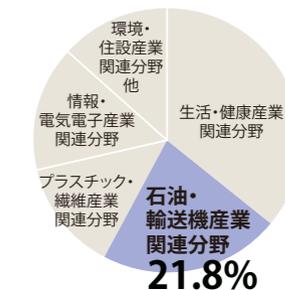


無段変速機の潤滑油に

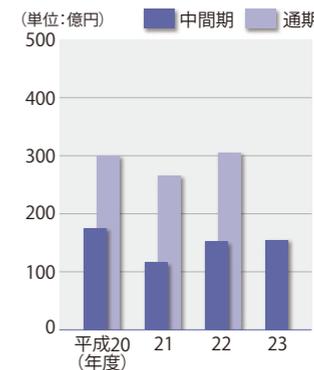


自動車シートに

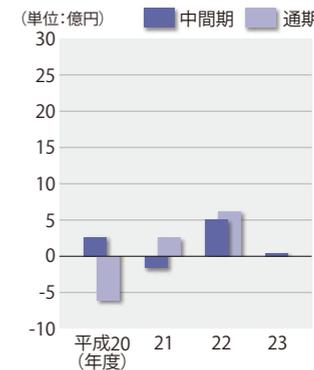
売上高比率



売上高の推移



営業利益の推移



プラスチック・繊維産業関連分野

プラスチック産業関連分野は、一部製品において東日本大震災の影響による応援（受託）生産を実施したことに加え、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤の売り上げが堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。

繊維産業関連分野は、自動車タイヤコード糸などの製造時に用いられる合成繊維製造用薬剤やガラス繊維用薬剤が海外を中心に、また炭素繊維用薬剤や合成皮革用ウレタン樹脂も国内外の需要の回復により、売上高が大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は96億9千9百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は12億8千5百万円（前年同期比21.4%増）となりました。

主な製品

- 永久帯電防止剤
- 顔料分散剤
- 樹脂改質剤
- 塗料用樹脂
- 繊維製造用薬剤
- ガラス繊維用薬剤
- 人工・合成皮革用ウレタン樹脂

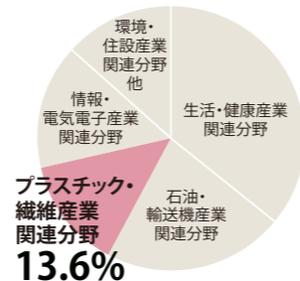


電子部品などの搬送材料に

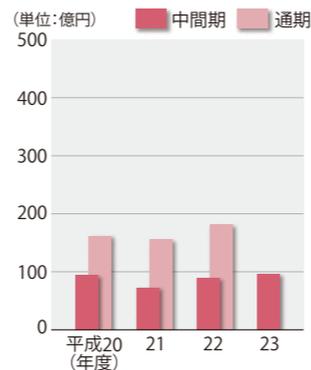


シートベルトの製造に

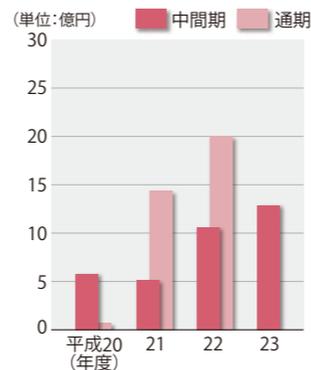
売上高比率



売上高の推移



営業利益の推移



情報・電気電子産業関連分野

情報産業関連分野は、粉碎トナー用バインダー、重合トナー中間体用ポリエステルビーズとも需要は堅調に推移しましたが、生産拠点的鹿島工場（茨城県神栖市）が東日本大震災により被災したため、当第1四半期前半に十分な生産・出荷ができず、低調な売上高となりました。

電気電子産業関連分野は、アルミ電解コンデンサ用電解液やシリコンウエハ製造用薬剤の販売量を増やしましたが、FPD（フラットパネルディスプレイ）用樹脂の需要が大幅に減少したため、売り上げを伸ばすことができませんでした。

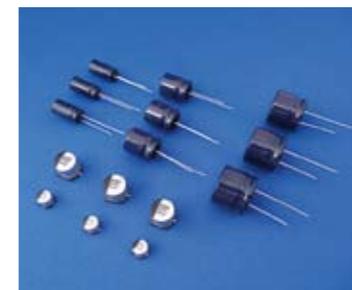
以上の結果、当セグメントの売上高は108億5千7百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は4億5千6百万円（前年同期比59.4%減）となりました。

主な製品

- 重合トナー中間体
- トナーバインダー
- アルミ電解コンデンサ用電解液
- 電気二重層コンデンサ用電解液
- 半導体加工用薬剤
- UV・EB硬化樹脂

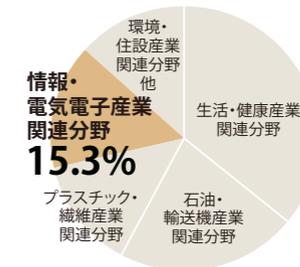


コピー機のトナーに

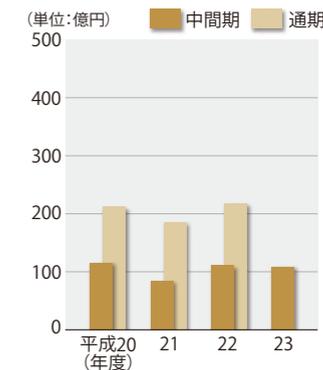


アルミ電解コンデンサに

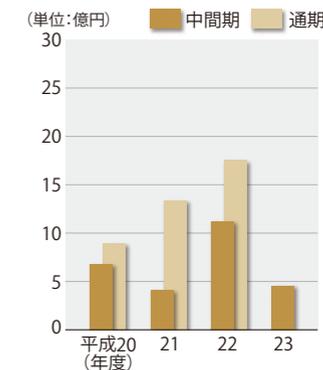
売上高比率



売上高の推移



営業利益の推移



環境・住設産業関連分野他

環境産業関連分野は、カチオン系高分子凝集剤が東日本大震災による鹿島工場生産設備停止の影響により当第1四半期前半に十分な生産・出荷ができずに販売数量が減少し、低調な売上高となりました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料が国内外で拡販が進んだことに加え、一部東日本大震災の影響による応援(受託)生産もあり、売り上げが大幅に伸びました。また、建築シーラント用原料やセメント用分散剤原料も拡販によりそれぞれ好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は93億8千9百万円(前年同期比21.4%増)となりましたが、営業損益は原燃料価格が高水準であったことに加え、衣浦工場の償却費負担などにより8千8百万円の損失(前年同期は1億1千3百万円の営業利益)となりました。

主な製品

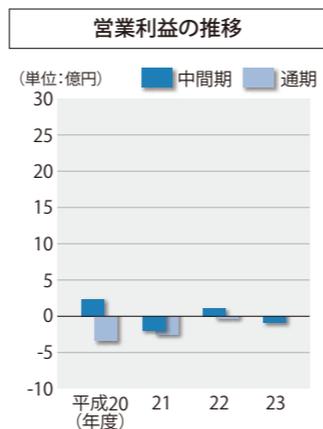
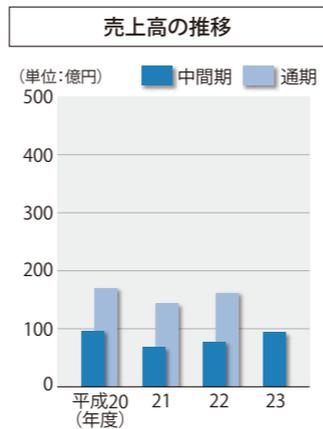
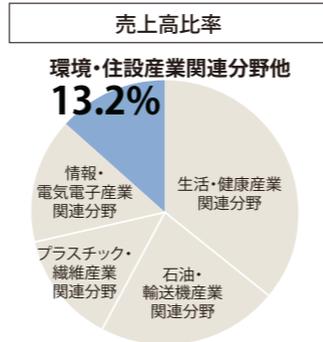
- 廃水処理用高分子凝集剤
- 泥水用薬剤
- ポリウレタン 家具・断熱材原料
- 反応性ホットメルト接着剤



ソファーに



都市廃水処理に



TOPICS ①

高吸水性樹脂設備が稼働 三大雅精細化学品(南通) 有限公司の第3期増設

当社の連結子会社であるサンダイヤポリマー株式会社全額出資の中国現地法人、三大雅精細化学品(南通)有限公司は、第3期となる高吸水性樹脂(SAP)の年産7万トン設備を増設し、6月に稼働しました。

増設したプラントは、ニーズが高まる薄型紙おむつに最適新グレードも生産できる技術を採用しています。新グレードは、初期の吸収速度を遅らせることで、いったん尿を紙おむつ内に行き渡らせ、その後急速に

吸収するような特長を持っています。この結果、紙おむつ全体の吸収力が向上し、尿の吸収量を従来品と比べて10%高めることができます。このため、紙おむつの中



三大雅精細化学品(南通)有限公司の工場

で主に尿を拡散する役割を担っているパルプを減量することができ、紙おむつの更なる薄型化を実現します。

今回の増設で、サンダイヤポリマー株式会社のSAP生産能力は日中合わせて年産27万トンとなり、中国をはじめ世界中の旺盛な需要に対応する体制を構築しました。

TOPICS ②

米国プレクストロニクス社と 有機EL照明用導電性高分子の 販売契約を締結

当社は、有機ELや有機薄膜太陽電池向けの材料技術などを手がける米国のプレクストロニクス社と、同社の導電性高分子を、有機EL照明用に日本国内で独占販売する契約を本年4月に締結しました。7月からサンプルワークを開始しています。

有機ELを使用した発光体は、面全体で発光するため、やわらかい光で広範囲を照らすことができ、またフレキシブルに曲げられるため、照明デザインの幅が広がります。ただし、コストや寿命、輝度の面で更なる向

上が求められています。

今回の締結に基づき、当社は日本の有機EL照明の製造メーカーや開発メーカーに向けて、導電性高分子『Plexcore® OC』シリーズを販売します。同シリーズは有機EL照明の電極材料で、低電圧での発光や長寿命化、輝度向上につながる特長を持っています。特に、腐食性や吸湿性が低いことから、有機EL照明の寿命を延ばすことができます。また、同シリーズは水系と溶剤系の2種類があり、インク状の本製品を基盤に塗布する際、ユーザーの各種設備に対応できます。

当社は今後、発光ダイオード(LED)照明と並んで次世代照明として市場拡大が期待される有機EL照明分野に参入し、プレクストロニクス社と協力して事業拡大を目指します。

第2四半期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	増減金額
流動資産	65,329	67,517	2,188
現金および預金	12,044	8,992	△3,052
受取手形および売掛金	36,145	38,668	2,523
たな卸資産	14,996	17,532	2,536
繰延税金資産	1,386	1,375	△11
その他	788	982	193
貸倒引当金	△30	△32	△1
固定資産	75,488	75,367	△121
有形固定資産	51,525	52,373	848
建物および構築物	14,498	15,903	1,405
機械装置および運搬具	21,453	25,315	3,862
土地	8,524	8,513	△11
建設仮勘定	5,662	1,381	△4,280
その他	1,387	1,259	△127
無形固定資産	948	1,021	73
投資その他の資産	23,014	21,971	△1,042
投資有価証券	21,629	20,591	△1,038
長期貸付金	3	3	△0
繰延税金資産	249	248	△0
その他	1,176	1,174	△2
貸倒引当金	△44	△45	△1
資産合計	140,817	142,885	2,067

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

ポイント

現金および預金の減少(△3,052百万円)

P.12 第2四半期(累計)キャッシュ・フロー計算書(連結)をご参照ください。

受取手形および売掛金の増加(2,523百万円)

販売数量の増加ならびに原燃料価格上昇による製品価格の改定に伴い、売上が増加したことによるものです。

たな卸資産の増加(2,536百万円)

原料高ならびに販売数量増加に対応した在庫数量増によるものです。

建物および構築物の増加(1,405百万円)、
機械装置および運搬具の増加(3,862百万円)
ならびに建設仮勘定の減少(△4,280百万円)

中国で高吸水性樹脂の製造・販売を行う子会社の三大雅精細化学品(南通)有限公司における高吸水性樹脂製造設備の増設工事(4,340百万円)や当社における本社地震対策工事(1,052百万円)が完成し、稼働したことなどによるものです。

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成23年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成23年9月30日現在)	増減金額
流動負債	40,288	43,353	3,064
支払手形および買掛金	22,289	25,194	2,904
短期借入金	3,318	4,335	1,016
一年以内返済予定長期借入金	3,164	3,273	108
未払費用	2,765	3,062	297
未払法人税等	1,592	1,080	△511
賞与引当金	1,606	1,453	△152
役員賞与引当金	88	40	△48
設備関係支払手形	1,473	2,197	724
その他	3,990	2,716	△1,273
固定負債	12,136	10,284	△1,851
長期借入金	6,612	5,426	△1,186
退職給付引当金	3,540	3,227	△312
役員退職慰労引当金	745	587	△157
繰延税金負債	332	82	△249
その他	905	960	54
負債合計	52,425	53,638	1,212
株主資本	82,122	83,762	1,639
資本金	13,051	13,051	—
資本剰余金	12,194	12,194	—
利益剰余金	62,571	64,213	1,641
自己株式	△5,694	△5,696	△2
その他の包括利益累計額	3,149	2,162	△987
その他有価証券評価差額金	5,136	4,149	△986
為替換算調整勘定	△1,986	△1,987	△1
少数株主持分	3,119	3,322	202
純資産合計	88,392	89,246	854
負債及び純資産合計	140,817	142,885	2,067

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

ポイント

支払手形および買掛金の増加(2,904百万円)

原料高ならびに需要の回復により仕入数量が増加したことによるものです。

利益剰余金の増加(1,641百万円)

配当金(827百万円)の支払いにより減少しましたが、第2四半期純利益(2,468百万円)により増加したものです。

短期借入金の増加(1,016百万円)

連結子会社において、運転資金の増加に伴い、借入を実施したものです。

長期借入金の減少(△1,186百万円)

前期末に転換社債型新株予約権付社債100億円の償還のため長期借入金で調達した70億円のうち、1,165百万円を返済したことなどによるものです。

第2四半期(累計)損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減金額
売上高	67,282	71,031	3,749
売上原価	52,922	58,343	5,420
売上総利益	14,359	12,688	△1,671
販売費および一般管理費	9,149	9,313	164
営業利益	5,210	3,375	△1,835
営業外収益	728	1,113	384
受取利息	(23)	(31)	(7)
受取配当金	(154)	(210)	(56)
持分法による投資利益	(246)	(585)	(339)
その他	(303)	(285)	(△18)
営業外費用	381	297	△84
支払利息	(88)	(124)	(36)
たな卸資産廃棄損	(26)	(24)	(△2)
為替差損	(197)	(91)	(△106)
その他	(68)	(56)	(△11)
経常利益	5,557	4,191	△1,366
特別利益	180	216	36
特別損失	146	161	15
税金等調整前第2四半期純利益	5,592	4,246	△1,345
法人税、住民税および事業税	1,887	1,279	△608
少数株主損益調整前第2四半期純利益	3,704	2,967	△736
少数株主利益	494	498	3
第2四半期純利益	3,209	2,468	▲740

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

ポイント

売上高の増加(3,749百万円)

販売数量の増加に加え、原燃料価格の上昇に伴う製品価格改定により増収となりました。

営業利益・経常利益・純利益の減少

原燃料価格が前年同期を上回る水準で推移したことに加え、円高や昨年10月に稼働した衣浦工場の償却費負担もあり、前年同期比ではいずれも減益となりました。

持分法による投資利益の増加(339百万円)

合成ゴム原料の製造・販売を行うサンライズ・ケミカルLLC(米国)ならびに(株)サン・ペトロケミカル(日本)の業績が好調に推移したことにより、持分法による投資利益は前年同期比で大幅に増加しました。

第2四半期(累計)キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前第2四半期純利益	5,592	4,246
減価償却費	3,586	4,383
持分法による投資利益	△246	△585
資産増減等	△3,480	△2,570
法人税等の支払額	△1,842	△1,776
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,609	3,696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得・売却	△3,316	△5,261
貸付・回収等	△94	△168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,410	△5,429
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△826	△826
自己株式の取得・売却	△2	△2
借入・返済等	△624	△370
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,453	△1,199
現金および現金同等物に係る換算差額	△154	△132
現金および現金同等物の増加額	△1,408	△3,064
現金および現金同等物の期首残高	15,565	12,044
現金および現金同等物の第2四半期末残高	14,156	8,979

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

ポイント

営業キャッシュ・フローは、原燃料価格上昇や円高の影響により税金等調整前第2四半期純利益が減益となる一方、衣浦工場稼働による減価償却費の増加や運転資金の減少などによる資金の増加により、前年同期比+87百万円の3,696百万円となりました。

投資キャッシュ・フローは、中国子会社における高吸水性樹脂製造設備の増設や当社における本社地震対策工事などの設備資金の支払いの増加により、前年同期比△2,019百万円の△5,429百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより△1,199百万円となりました。

第2四半期(累計)株主資本等変動計算書(連結)

(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定			その他の包括利益累計額合計
前連結会計年度末残高	13,051	12,194	62,571	△5,694	82,122	5,136	△1,986	3,149	3,119	88,392
当第2四半期中の変動額										
剰余金の配当			△827		△827					△827
第2四半期純利益			2,468		2,468					2,468
自己株式の取得				△2	△2					△2
株主資本以外の項目の当第2四半期中の変動額(純額)						△986	△1	△987	202	△784
当第2四半期中の変動額合計	—	—	1,641	△2	1,639	△986	△1	△987	202	854
当第2四半期末残高	13,051	12,194	64,213	▲5,696	83,762	4,149	▲1,987	2,162	3,322	89,246

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てております。

発行済株式総数および株主数 (平成23年9月30日現在)

発行済株式総数 117,673千株 (注)1千株未満は切り捨て(以下同じ)。
 株主数 7,983名

大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	株式数(千株)	持株比率(%)
豊田通商株式会社	21,431	19.4
東レ株式会社	19,133	17.3
株式会社日本触媒	5,529	5.0
JXホールディングス株式会社	5,306	4.8
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	3,968	3.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,729	3.4
三洋化成従業員持株会	2,359	2.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,523	1.4
三井住友海上火災保険株式会社	1,469	1.3
シービーロンドンオールイーファンド116	1,275	1.2

(注)
 1.上記のほかに、自己株式7,372千株があります。
 2.持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除して算出しております。

株主メモ

決算期 3月31日
 期末配当基準日 3月31日
 中間配当基準日 9月30日
 定時株主総会 毎年6月
 株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社
 東京都港区芝三丁目33番1号

電話照会先 郵便物送付先

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
 電話 0120-78-2031(受付時間:平日9:00~17:00)
 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

公告掲載 ホームページ <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>
 上場証券取引所 東京・大阪(コード番号 4471)

住所変更、配当金の受取方法の指定、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様が口座を開設されている証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払について

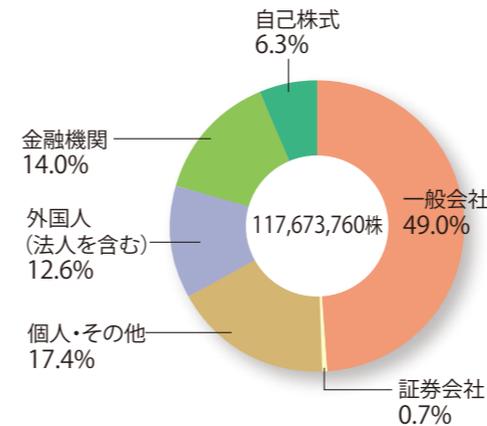
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金計算書について

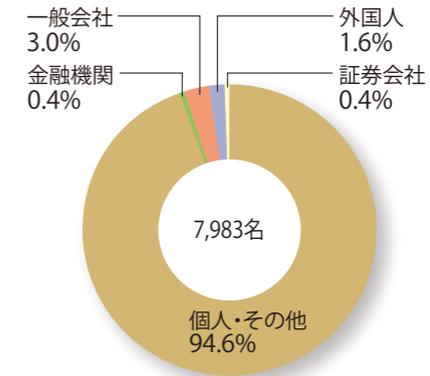
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

株主構成 (平成23年9月30日現在)

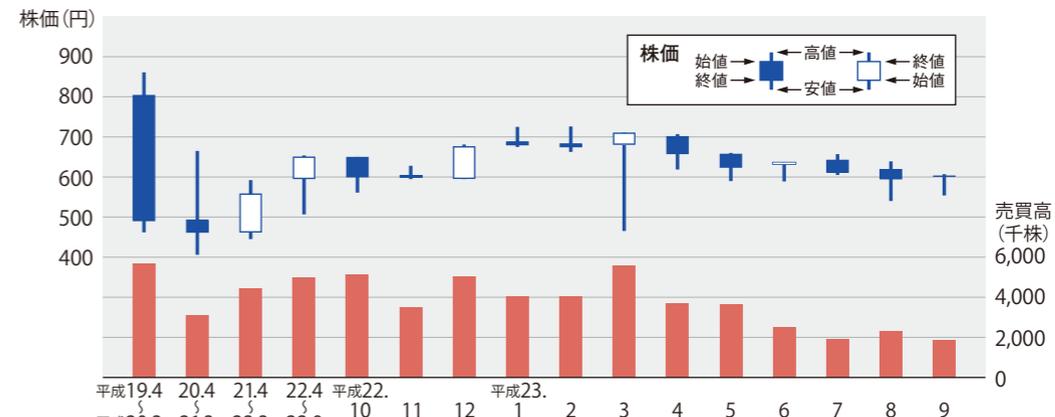
[所有者別持株数比率]



[所有者別株主数比率]



株価・売買高の推移



(注)
 1.株価・売買高は東京証券取引所によるもの。
 2.平成19年4月~平成22年9月の売買高は月平均。

事業所 (平成23年9月30日現在)

国内
事業所

本社・研究所 [京都市東山区] 営業所: 東京 [東京都中央区]・大阪 [大阪市中央区]・名古屋 [名古屋市中村区]・
桂 研究所 [京都市西京区] 北陸 [富山市]・中国 [広島市南区]・西日本 [福岡市中央区]
東京支社 [東京都中央区] 工場: 名古屋 [愛知県東海市]・衣浦 [愛知県半田市]・
大阪支社 [大阪市中央区] 鹿島 [茨城県神栖市]・京都 [京都市東山区]



海外
事業拠点・
関係会社



三洋化成グループの状況 (平成23年9月30日現在)

[国内]

	会社名	資本金(百万円)	議決権の所有割合	主要な事業内容
連結 子会社	サンダイヤポリマー株式会社	2,000	60%	高吸水性樹脂の製造、販売
	サンノブコ株式会社	400	100%	界面活性剤等の製造、販売
	サンケミカル株式会社	400	50%	ポリウレタンフォーム原料、洗剤・香粧品原料等の製造
	サンアプロ株式会社	60	50%	特殊化学品等の製造、販売
持分法 適用会社	株式会社サン・パトロケミカル	400	50%	合成ゴム原料の製造
	三洋運輸株式会社	65	100%	運送業
	株式会社サンリビング	55	100%	不動産業、保険代理店業
	名古屋三洋倉庫株式会社	30	100%	倉庫業
	塩浜ケミカル倉庫株式会社	30	50%	倉庫業

[海外]

	会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
連結 子会社	サンヨーカセイ(タイランド)リミテッド	490,950千バーツ	89%	界面活性剤等の製造、販売
	サンナム・コーポレーション	400千米ドル	100%	米国子会社の統括会社トナーバインダー、ウレタン関連製品の販売
	サンヨーケミカル・アンド・レジズLLC	1米ドル	100%(100%)	トナーバインダー等の製造
	サンヨーケミカル・テキサス・インダストリーズLLC	1米ドル	100%(100%)	ウレタン関連製品の製造
	三洋化成精細化学品(南通)有限公司	21,900千米ドル	100%	界面活性剤等の製造
	三大雅精細化学品(南通)有限公司	46,900千米ドル	60%(60%)	高吸水性樹脂の製造、販売
	三洋化成(上海)貿易有限公司	1,800千米ドル	100%	界面活性剤等の販売
持分法 適用会社	サンライズ・ケミカルLLC	37,397千米ドル	50%(50%)	合成ゴム原料の製造
その他	韓国三洋化成株式会社	4億5,000万韓国ウォン	100%	三洋化成製品の販売およびマーケティング、製品開発活動、技術サービス
	サンノブコ(上海)貿易有限公司	400千米ドル	100%(100%)	サンノブコ(株)、三洋化成精細化学品(南通)有限公司等の製品の販売
	韓国サンノブコ株式会社	12億韓国ウォン	49%(49%)	建材・セメント・モルタル・紙・塗料用の各種工業用薬剤の製造、販売
	台湾三洋化成股份有限公司	1,000万新台湾ドル	100%	三洋化成製品の販売およびマーケティング、製品開発活動、技術サービス
	大祥化成股份有限公司	7,000万新台湾ドル	30%	水溶性ポリマー等の製造、販売
	サンヨーカセイ・ド・ブラジル	1,418ブラジルリアル	99.85%	当社製品の製造技術・ノウハウの提供と販売活動の支援

(注) 議決権の所有割合の()内は、間接所有割合であります。

概況 (平成23年9月30日現在)

創立	昭和24年11月1日
資本金	13,051,179,427円
発行可能株式総数	257,956,000株
発行済株式総数	117,673,760株
従業員数	1,251名(連結 1,769名)

役員 (平成23年9月30日現在)

取締役会長	家永 昌明
代表取締役社長 兼執行役員社長	安藤 孝夫
代表取締役 兼執行役員副社長	本庄 政昭 企業倫理担当兼間接部門担当
取締役 兼専務執行役員	廣瀬 恒治 営業部門担当兼購買本部長兼東京支社長
取締役 兼常務執行役員	矢野 達司 国際事業推進本部長
取締役 兼常務執行役員	吉野 隆 研究部門担当兼生産技術本部長兼研究業務本部長
取締役 兼常務執行役員	堀井 啓右 生産部門担当兼生産本部長兼生産業務本部長
取締役	上野 観
監査役(常勤)	濱 勲
監査役(常勤)	苅坂 剛
監査役	清水 順三
監査役	中野 治雄
常務執行役員	和多田 修 営業業務本部長兼分社グループ担当
執行役員	鳴瀧 英也 生活・繊維本部長兼大阪支社長
執行役員	鶴田 博之 石油・環境本部長兼情報・電材本部長
執行役員	前田 浩平 事業研究本部長
執行役員	大西 亨 総合事務本部長
執行役員	吉田 彰二 輸送機本部長
執行役員	小寺 昭芳 総合事務本部副本部長兼経理部長
執行役員	武田 栄明 サンダイヤポリマー(株)取締役
執行役員	木村 昌史 樹脂・色材本部長
執行役員	田中 敬次 開発研究本部長

(注) 1.取締役 上野 観氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 2.監査役 濱 勲氏、清水 順三氏および中野 治雄氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
 3.監査役 濱 勲氏は、東京証券取引所および大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。

会計監査人 (平成23年9月30日現在)

新日本有限責任監査法人



三洋化成工業株式会社

本社

〒605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1
TEL:075-541-0255 (総務ダイヤルイン)

東京支社・東京営業所

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-5-6 第10中央ビル
TEL:03-5200-3400 (総務ダイヤルイン)

大阪支社・大阪営業所

〒541-0053 大阪市中央区本町1-8-12 日本生命堺筋本町ビル10階
TEL:06-6267-3410 (代表)

ホームページアドレス <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

◎表紙について

当社は、社団法人 京都モデルフォレスト協会の森づくり活動の趣旨に賛同し、京都府和東町湯船地区の森林において、森林利用保全活動(「三洋化成の森」づくり活動)を行っています。



レスポンスフル・ケア®

当社は環境と安全の確保を経営の優先的重要課題にしています。

